

令和3年度米子市福市考古資料館事業報告書

1 管理業務の実施状況

1 原始・古代の歴史を学ぶ機会の提供

- (1) 米子市等の考古資料を展示する常設展・企画展を開催して、原始・古代への関心を高めた。
- (2) 発掘調査速報コーナーを設け、原始古代への関心を高めた。
- (3) 体験教室、出前講座などを通して、見て、触れて、作って、古代への興味・関心を高めた。
- (4) 来館者へ勾玉作り、火起し、弓矢体験を提供した。
- (5) 来館者へ考古資料の拓本体験を提供した。

2 施設の良い管理

- (1) 日々の施設設備の点検と清掃を行い、良好な環境の維持に努めた。
- (2) 考古学関係図書を配置し、学習利用に供した。

3 情報の発信

- (1) 事業のチラシを配布して広報に努めた。
- (2) ホームページで施設・行事情報、遺跡紹介を行った。
- (3) 「米子市福市考古資料館通信」を年4回発行し、情報提供に努めた。
- (4) 解説チラシを展示室に配置し、展示解説に努めた。

4 連携事業の促進

- (1) 鳥取県ミュージアムネットワークに加盟し、他館との連携を図った。
- (2) なかよし学級等学校との連携を図った。
- (3) 山陰歴史館との連携に努めた。

5 施設管理の充実

- (1) 前庭の植木や危険木の剪定、草刈を行い、環境美化を図った。
- (2) 非常灯の取替修繕など施設設備の整備を図った。

2 事業の実施状況

事業名	開催・実施期間	参加者数(人)	内 容
鑑賞事業			
常設展 「米子の原始・古代」	通年	2,432	米子の遺跡から出土した代表的な考古資料を展示し、米子の原始・古代の歴史の理解を深めた。
企画展 「昔の匠の技」-古鏡・和鏡-	6/2(水) ～ 6/28(月)	168	昔の匠の技を解説し、古鏡・和鏡を展示した。
企画展 「発掘で解った米子城」	9/29(水) ～ 11/29(月)	486	米子城跡の発掘調査の成果を解説し、出土した遺物を展示した。
企画展 「昔の匠の技」-石器と鉄器-	2/2(水) ～ 3/7(月)	195	昔の匠の技を解説し、石器・鉄器を展示した。
教育普及事業			
出前講座 「なかよし学級古代体験」	8/5(日)	—	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
出前講座 「勾玉作り」	11/22(土) 1/22(土)	21	勾玉作り体験を出前した。 会場：こどもデイサービス皆生、住吉
古代体験 勾玉作り、火起こし、弓矢体験	通年	—	勾玉作り、火起こし、弓矢の古代体験を希望した来館者等へ提供した。
連携事業			
米子市文化財団連携事業 「施設紹介展示&クイズラリー」	11/2(火) ～7(日)	(366)	当財団が管理・受託している各施設の展示&クイズラリー 会場：米子市立図書館2階市民ギャラリー
鳥取県ミュージアムネットワーク	通年	—	県内博物館のネットワークへ参加し、情報の交換を行った。
情報提供事業			
福市考古資料館通信の発行	年4回	—	福市考古資料館や史跡福市遺跡の行事や展示品を紹介した。
福市考古資料館発刊物	3/31(水)	—	福市考古資料館の年報を発刊した。
ホームページ	通年	—	ホームページを更新し、施設イベント情報やセンターたよりを提供した。
図書等販売	通年	—	「よなごの大昔」古代編、勾玉材料、米子城ペーパークラフト等を販売し、収入の一助とした。
合計		3,302	()の人数は除く

